

委員質問・意見等

第99回定例会（9月7日）後受付分

○新潟県に対する質問

福島第一原発事故から半年（6ヶ月）が経った。当然のことながら、発生から現在までの経過・経緯が集約されているはずである。だとすれば、『防災計画を見直す』ことはどこまで進展しているのか？具体的なことはともかく方向性や将来像はできているはず。稼働中という現実を踏まえ、速やかに避難計画を策定すべきであると考えますが、いかがか？

（回答）

ご質問についてですが、いままでに新潟県防災会議原子力防災部会を2回開催しております。県では、6月27日に開催しました第2回原子力防災部会において、柏崎刈羽原子力発電所から半径50km圏内の市町村を目安として勉強会を開催するとなったことを受けまして、7月12日から9月5日までの間に計4回開催し、市町村等の職員の方々に対し、放射能の基礎知識や原子力防災の課題などについて説明しました。

現在、県内市町村が原子力安全対策研究会を独自に設置し、県ではこれまでに資料提供や講師の派遣などを行っているところです。

県としては、EPZ（防災対策重点地域）の拡大を視野に入れ、広域自治体として責任をもって調整を図りつつ、見直せるところから防災計画の暫定見直しを進めていきたいと考えております。